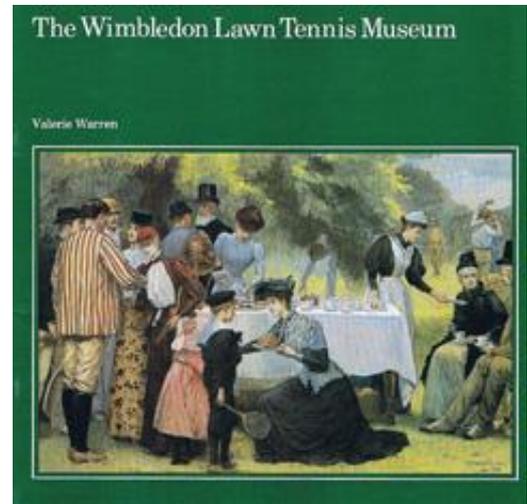


ウィンブルドンのセンターコートに立つ

1983年10月

中嶋 邦弘

ロンドン郊外のウィンブルドン(Wimbledon)で毎年初夏に開催される全英オープンテニス大会(ウィンブルドン大会)は、天然芝を敷きつめたコートで行われ、世界一決定戦と誰もが認めるところ。およそテニスをしたことのある人なら、一度はウィンブルドンのセンターコートでプレイすることを夢見る。ところが、芝の養育のために大会期間中(1年のうち3週間ほど)を除いて普段は使用せず、クラブの会員でもめったに使えない。大会本戦出場は非常に困難なうえ、ハイランクのシード選手に割当てられるセンターコートで試合をしたのは、本当に一部の選手に限られる。日本人で最近センターコートで試合をしたのは、1975年に女子ダブルスに優勝した沢松和子嬢と、1973年男子シングルス3回戦で第1シードのナスターゼと対戦した坂井俊郎氏ぐらいなものである。(1983年時点)



ウィンブルドンのクラブ(The All England Lawn Tennis & Croquet Club)は、1868年(なんと明治元年)発足、第1回大会を1877年に開催している。この由緒あるクラブを訪れ、ゴーリンジ総支配人(Sir. C.J.Gorringe, Chief Executive)の説明と案内を受ける。42エーカーの敷地に18のローンコート(芝生)、11のハードコート(クレイ)を持ち、375人の正会員、84人の一時会員と若干の名誉会員と、メンバーは少数。なかなか会員になれない。現在、約700人が入会待ちで、欠員(会員の死亡)に際して、年齢構成を考慮して入会が認められるので、1923年からずっと待っている人もいるとのこと。いや、正にイギリス的格式の高さ。



ウィンブルドンのシ・オール・イングランド・ローンテニス・アンド・クリケット・クラブ

テニスの腕前では永久に無理と、想像さえしなかったチャンスが与えられ、1983年10月12日午前11時、私はウィンブルドンのセンターコートに立った。そして、隣接の博物館に、第716枚目(1977年の100回記念大会時に1977枚限定で制作されたもの)のオーナーとして住所氏名が登録されたウィンブルドン大会100回記念プレートは家宝となる。(1983年、中嶋邦弘)





スタンドから見る全世界のテニス
 プレーヤーあこがれの的、
 センターコート（1983年当時）



コート内から見る全世界のテニス
 プレーヤーあこがれの的、
 センターコート（1983年当時）



女子ダブルスの歴代チャンピオン・ヘア
 「1975年アン清村・沢松和子」の掲示



No.1コート（手前）とNo.2コート（向
 こう側）



珍しい室内コート（人造アンツーカー）で
 練習している
 元ウィンブルドン・チャンピオン（右奥）



由緒あるクラブの総支配人ゴーリンジ氏
 の案内を受ける（本部事務所玄関口）

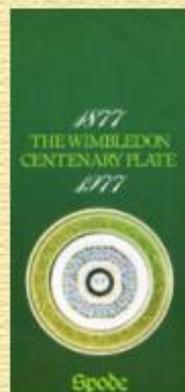


クラブハウス。立見席へと繋がっている



ウィンブルドンこれまでのシーン
 （1983年版写真集）

テニスの腕前では永久に無理と、想像さえしなかつたチャンスが与えられ、1983年10月12日午前11時、私はウィンブルドンのセンターコートに立った。そして、隣接の博物館に、第716枚目（1977年の100回記念大会時に1977枚限定で制作されたもの）のオーナーとして住所氏名が登録されたウィンブルドン大会100回記念プレートは家宝となる。（1983年、中嶋邦弘）

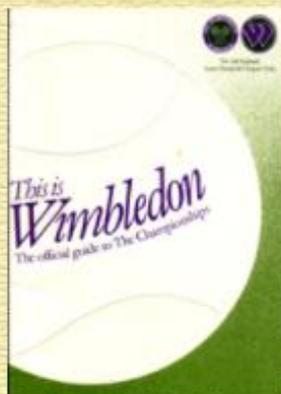




ウィンブルドン大会 100回記念プレート



同左、716枚目の証明書



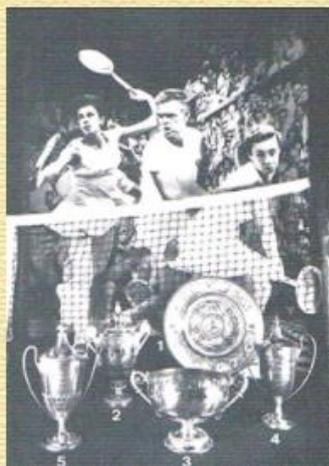
大会公式ガイドブック



ウィンブルドン・ローンテニス博物館（入口）



同左、パンフレット



大会ウィンブルドン・チャンピオンの各種トロフィー
(男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス)



クラブ全景の航空写真



このクラブ会長のケント公爵と同夫人



開門を待つギャラリーの大行列



センターコートで観戦するギャラリー



休憩エリア



休憩エリアで寛くギャラリー



公式グッズショップ



ウィンブルドン名物の「ストロベリイ&クリム」の店前（開店前）



これも名物「シャンパン・バー」



審判員控え室前の立ち話



グラウンド・キーパーの作業風景



同左芝刈り



ボランティアも含め場内清掃隊



クラブ図書館内



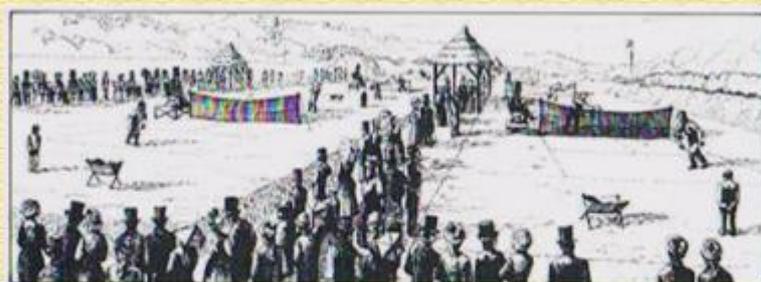
ミュージアム内



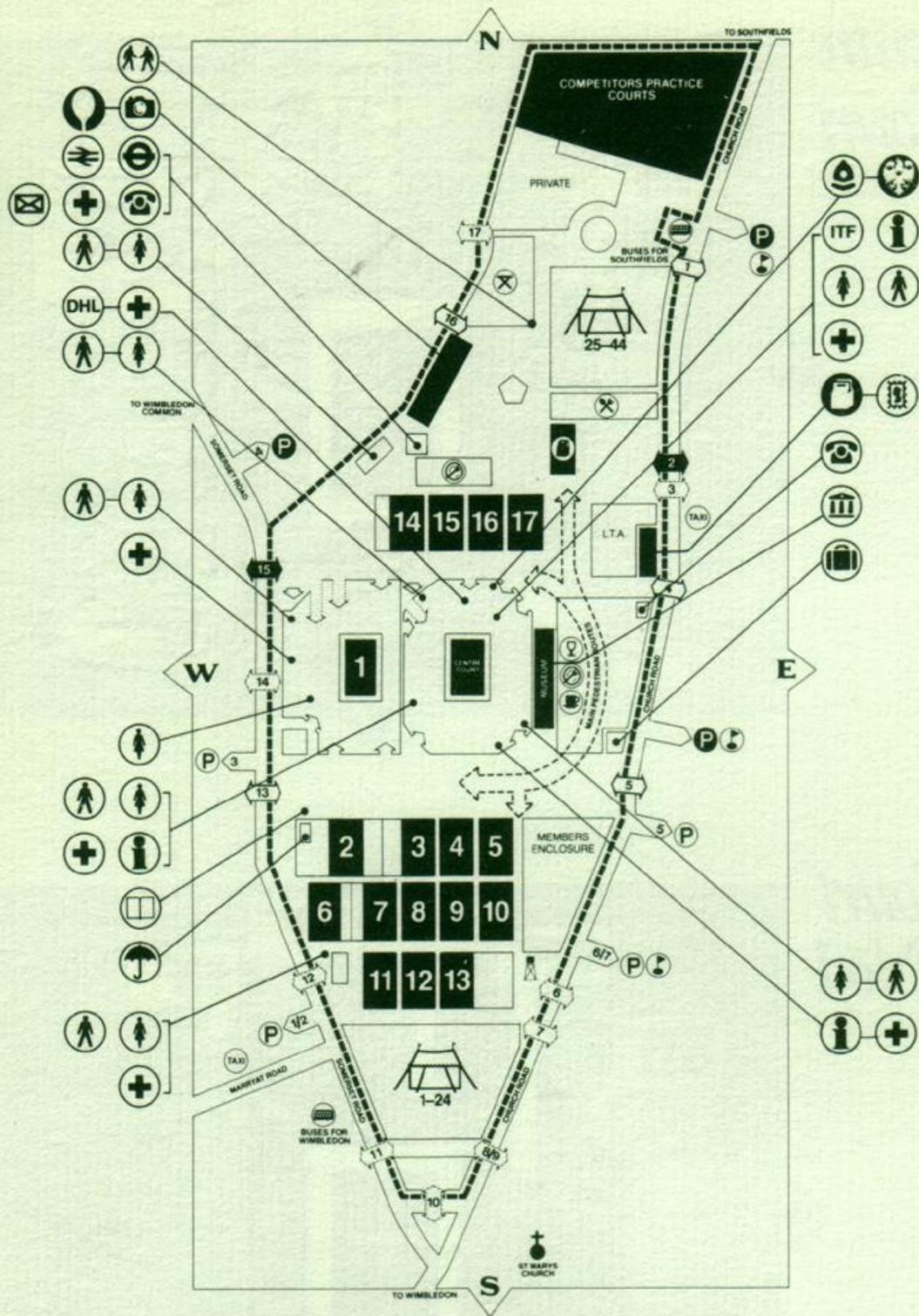
当時のチャンピオン、オーストラリアのケン・ローズウォール



1876年当時のローンテニス・セット



1877年第1回大会（ウォーブル・ロード・グラウンド）



KEY

Bar		First Aid		Information		Lost Property		Parking Reserved		Restaurant		Ticket Holders Entrances	
Barclays Bank		First Day Covers		International Tennis Federation		Marquees (Private)		Picnic Area		Results Board		Water Tower	
British Rail Information And Tickets		Food Village		International Merchandising Shop		Meeting Point		Police		Short Tennis		Wimbledon Shop	
Buses		Free Seating		Ladies Toilet		Museum Entrance		Post Office		Taxi			
Camera Loan		Gentlemen's Toilet		Left Luggage		Non-Ticket Holders Entrances		Private and Contractors Entrances		Tea Lawn			
Debuture Holders Lounge		Golf Course		London Transport Information And Tickets		Parking Public		Programme Office		Telephones			

